



本を読まない時間に「読書時間」を築く

「ヨンテミー」代表の笹沼颯太さんの記事を紹介します。(レジデントFaily2025春号)

「読書嫌いの子が本を読むようになるには、実は読んでいない時間が大事。読書を楽しめるようになる効果的な仕掛けを、親のほうで仕込みましょう」
笹沼さんによると、読んでいる間だけではなく、本に出会う瞬間、読み終わった後に誰かと感想を話す時間など、本に関するすべての時間が、読書体験といえるそうだ。

「そもそも『本を読みなさい』と親に何度言われても読まない子は、読書＝勉強につながるもの、楽しくないものと思っている場合が多く、まずは読書＝楽しいもの、とイメージを置き換えることが始めの一步になります。おすすめは、毎日1回、本の話題を子供との会話に自然に出すことです」
(笹沼さん・以下同)

親が先に本を読んでおく必要はない。「今度〇〇が映画化するらしいね」などと、話すだけでOK。「話題に出すだけ」と、続けるハードルが低いので親たちにも好評で、実際に子供が本に興味を持つのに最も効果を感じた技だという。

「子供が本を読まないで悩む家庭でも、子供が小さな頃には読み聞かせをしていたご家庭が多いんです。「あれ覚えてる？」などと思い出を振り返る感じで話すもよし、「お母さんが小さい頃にハマった<若草物語>っていうシリーズがあって」などと、自分の好きだった本について話すもよし。目的は本って面白そう！と思わせることなので、子供が読めないくらい難しいものでもOK。夕飯時に話すという家庭が多いですね」

続けることで、子供は1日1回は本のことを思い浮かべるようになる。しかも、ちょっと楽しい会話の中で。地道ながら、これで子供の中にある本への嫌悪感が楽しいものへと置き換わっていき、「ちょっと読んでみようかな」となる子供が多いという。

「最大のポイントは「親も楽しく」です。本当に話題に出すだけでいい。子供からの反応が特になくてもOKです」

ご家庭内でも映画になった本や、教科書に掲載のお話の話など、毎日ではなくても、思いついた時から始めてはいかがでしょうか。



【開館日時】

今年度から時間と曜日が
変わりました

	月曜日	水曜日	金曜日
	9:00~12:00	13:00~16:00	9:00~12:00
9月	-	3	5
	-	10	12
	-	17☆	19
	22	24	26
	29		
10月	-	-	-
	-	8	10
	-	15☆	17
	20	22	24
	27	29	31
11月	-	5	7
	10	12	14
	-	19☆	21
	-	26	28

☆ 朝の読み聞かせ

【お願い】

夏休み中にお子さんが借りた本は、返却は
お済みでしょうか？

次に読みたいお友達が待っています。

もう一度、おうちの中の確認をよろしく
お願いします。

朝の読み聞かせを月に一度やっています

☆絵本の読み聞かせ（朝の読み聞かせ 月1回第3水曜日）
朝、児童とともに登校して頂き9時前には終了します。
8時30分~40分の間に絵本1~2冊の
読み聞かせを行っております。



次回は9月17日です。
見学は未就学児のお子様と一緒にでも歓迎です。
事前連絡不要です。ぜひ一度来てください。

